

＜主な取組＞

3-① 小・中・高等学校から大学等、そして就職までのつながりや将来の生き方を意識したキャリア教育の充実に取り組みます。

3-② 学校、家庭、大学、地元企業等が、それぞれの役割の下で連携したキャリア教育支援の仕組みづくりを推進します。

3-③ 若者の就業意識や起業意識の醸成、職場定着を意識した県内企業への就職支援に取り組みます。

3-④ 産業界との連携による地域の産業・生活を支える担い手（職業人）の育成に取り組みます。

3-⑤ 医療従事者を目指す中学生・高校生の増加に向けた取組を支援します。

＜主な事業等＞

主な取組	事業等名	R6決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
3-①	県立学校就職促進関連事業	1,187	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒の就職促進に向けた体制整備のため、高等学校就職促進連絡会議を開催するとともに、特別支援学校産業現場等における実習促進のための事業所等の事前打ち合わせや巡回指導等を実施する。 ▶ 新規学校卒業者就職問題連絡協議会において、県子ども家庭部、青森労働局、経済団体、PTA団体、学校関係団体等の関係機関とともに、新規学校卒業者の応募・推薦に係る方法や選考開始期日、就職慣行の在り方等について協議。今後は協議会における議論の活性化を図るため、開催時期を前倒しすることとし、令和7年度は令和7年4月と令和8年2月の2回開催する。 ▶ 産業現場等における実習を円滑に実施するための条件整備を行った。（実施事業所601、実習実施641人、延べ実習回数1,155回）令和6年度の新規事業所は134であった。各学校の産業現場等における実習の条件整備がスムーズに行えるように、今後もできる限り早い段階で計画することが必要である。
3-②	地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業	801	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業・NPO・各種団体・地域住民等の関係者が、学校において行われるキャリア教育について相互に理解を深めるため、研修等を行い、キャリア教育が推進されるための環境整備を進める。 ▶ 子どもたちの望ましい職業観や人生観を育むことを目的に研修会（2回、58人参加）やフォーラム（58人参加）等を実施。学校・地域住民・企業・NPO・各種団体等の関係者の相互理解が深まった。 ▶ 学校、地域コーディネーター、各地区プラットフォーム実行委員会、総合社会教育センターが連携・協力することで、地域の人財を発掘し、子どもたちの郷土愛や地域愛を育むキャリア教育の実践例を提案することができた。今後はキャリア教育の意義や役割について多くの県民に知ってもらうために研修会やフォーラム等の周知を工夫していく必要がある。

主な取組	事業等名	R6決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
3-③	高校生の就職総合支援プロジェクト事業	11,747	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生の就職支援を強力に推進するため、生徒の就職に有利となる資格取得に向けた研修等を実施するとともに、生徒の職業・企業理解を図るための企業訪問を実施する。 ▶ キャリア形成講座（25校48講座）、研修会（9校9講座）、介護員養成講習会（33人受講）、先進技能習得研修（10校11研修）、生徒の職業・企業理解を図るための企業訪問（6地区9回）を実施。各校における高校生の就職支援等の推進が図られた。今後は求人倍率が高い水準で推移していることや、大学等進学者数が増加していること等を踏まえ、中長期的な視点に立った全ての高校生に対するキャリア支援が必要である。
3-④	仕事力養成推進事業	1,335	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生が社会人・職業人として自立するための仕事力を養成するため、体験活動（インターンシップ等）と演習（ビジネスマナー等）を組み立てた就職指導プログラムを高校3年間を通して系統的に実施する。 ▶ インターンシップ（11校）、ビジネスマナーの講習会（10校）を実施。新型コロナウイルス感染症の影響でインターンシップ実施校が減少したが、その後増加傾向に転じた。県内企業理解を進め、高校卒業生の県内定着に向けて更なる支援等が必要である。インターンシップ先との連絡調整等が教員の負担となっていることから、負担にならない方策を検討する。
3-⑤	医師を志す高校生支援事業	10,702	<ul style="list-style-type: none"> ● 医学部医学科入学者の増加を図るため、県内3つの拠点校が中心となり、医学科進学を目指す高校生の実力養成と教員の指導力向上等を図る学習プログラム等を実施する。 ▶ 拠点校（青森高校・弘前高校・八戸高校）を中心に、各地区で高校生対象の「学力向上プログラム」を実施。また、「指導力向上プログラム」では、教員34人が研修セミナーを受講し、実践的な指導法を学んだ。 ▶ 拠点校と五所川原高校、田名部高校、三本木高校の教員が進路指導の先進校を訪問し、医学部医学科対策等の指導法の調査・研究を行った。校内の進路指導体制構築のための様々な方策について学ぶことができた。 ▶ 本県出身の医学部医学科合格者は、平成20年度以降全体で概ね70人、弘前大学は概ね40人以上で推移。令和7年3月時点で全体で50人、弘前大学33人が合格。（現役・浪人合計）

<指標>

No.	指標	基準値 (現状値)	目標値 (R10)	R6	R7	R8	R9	R10
① ③ ④	新規高等学校卒業者の県内就職希望者の割合	(R5) 68.7%	81.0%	71.6%				
① ③ ④	中学校職場体験及び高等学校インターンシップの実施率	(R4) 中 40.4% 高 44.8%	中 98.0% 高 80.0%	中 65.3% 高 61.2%				
②	学校と地域・企業等をつなぐキャリア教育研修会定員充足率（職業人、地域コーディネーター、教育委員会職員、学校運営協議会委員等）	(R5) 100%	100%	95.0%				
⑤	県内高等学校の医学部医学科受験者のうち、事業に参加していた生徒の人数	(R5) 78人	80人	87人				

<今後の方向性>

- 県内企業への就職支援や大学卒業後の還流も見据えたキャリア教育の充実・強化（県立学校へのキャリアサポートスタッフの配置、大学・県内企業等との連携、あおり創造学等の機会を通じた県内企業への理解促進等）
- 学校・家庭・地域住民及び企業の連携・協力による、こどもたちの郷土愛を育むキャリア教育の充実
- 専門高校における職業教育の充実や産官学の連携による地域の産業・生活を支える担い手（職業人）育成の推進